

サルトルと共生の哲学

関大聡(東京大学)

「透明と障害、もしくはサルトルにおける嘘」

栗脇永翔(東京大学)

「他者・障害・歴史——ヴィルヘルム二世を分析するサルトル」

赤阪辰太郎(大阪大学)

「不在の他者とのコンタクト——初期サルトルにおける」

高山花子(東京大学)

「未聞の音——サルトルがブランショに見出すファンタスティックなもの」

小林成彬(一橋大学)

「『アンガジュマン文学』とは別の仕方——ヴェネツィアにいるサルトル」

中村彩(東京大学)

「ボーヴォワールから見たサルトル——『別れの儀式』を中心に」

コメンテーター: 澤田直(立教大学)

使用言語: 日本語 | 入場無料 | 予約不要

日時: 2015年1月25日(日) 13:30-18:30

場所: 東京大学駒場キャンパス駒場ファカルティハウスセミナー室

主催: 共生のための国際哲学研究センター(UTCP)L2プロジェクト「共生のための障害の哲学」